



さきばる

さいごまで きあいをいれて ねほりづよく がんばる子ども の育成

サキバルノサシバ

校長 長崎 克則

12月18日(金) 「親子読書の日」

親子で本に親しみ、本を通じて親子が共有する時間を持ちましょう。

サシバとは…

秋に大群で南下するタカで、奄美では冬に農耕地や林縁でよく目にする。飛翔しながらよく通る声で鳴く。木の枝や電柱から待ち伏せし、ネズミや小鳥、昆虫類などを襲って食べる。日本では夏鳥として本州以南に飛来して繁殖するが、奄美では冬鳥である。鳴き声はビッダー・キンジャーなど。絶滅危惧Ⅰ類。
～奄美の野鳥図鑑 奄美野鳥の会編 より一部引用～



まずは、二枚の写真を御覧ください。一枚目(図1)は、昨年10月13日に校庭で撮影したサシバです。二枚目(図2)は、およそ1年後の今年10月24日に校庭で撮影したサシバです。人間でいえば、おでこにあたる部分に特徴的な模様(傷跡のようです)があることがわかります。

私は、どちらの写真にも同じ部分に特徴的な模様があることから、同じサシバが崎原に戻ってきて冬越しをしているのではないかと予想しているのです。その根拠となるのは、これまでの写真の比較結果からです。サシバのおでこ(額)の部分に特徴があって、顔写真を見比べることで判断の基準になるのではないかと考えました。実際に昨年10月から現在までに崎原小中学校で撮影したサシバの顔写真を比較してみました。(図3・図4)



(図3) 昨シーズン(2019年10月～2020年2月)に撮影



(図4) 今シーズン(2020年10月～2020年11月)に撮影

光の当たり方や羽の乾き具合で雰囲気が変わることもありますが、額の部分の特徴的な模様はどの写真にも共通して当てはまるようです。

昨年度は、崎原でサシバが越冬する様子を10月上旬から3月中旬まで、170日間ほど観察をすることができました。その中で、サシバが越冬中もなわばりを持っていて、同じ場所に同じ個体が滞在する様子も確認できました。学校でよく観察できた個体は、顔が灰色で、目の上の模様があまり白くないことから、オスではないかと考えています。

また、草刈り機や芝刈り機の近くで、飛び出す昆虫や小動物をつかまえることを学んでいるようで、農作業中の人のすぐそばまで近づいてくる姿も観察できました。これは、このサシバが人里に近い里山での生活経験をもっている可能性があることを示しています。(図5)



(図5) エサを狙うサシバ

群馬県で開催された、国際サシバサミット～2019市貝～のパンフレット内に興味深い研究の紹介がありました。宇検村の写真家、与名正三さんによるポスターセッションの概要です。テーマは「宇検村 サシバの分布図と個体写真」です。与名さんの研究によると、宇検村では約30羽のサシバが越冬していて、そのうち、165羽を特定することができたそうです。また、ほとんどが毎年同じ場所で生活することもわかっていて、分布図の作成も進んでいるのだそうです。

サシバは、長距離の渡りをする習性をもっていることから、夏を過ごす「繁殖地」と冬を過ごす「越冬地」及びその通り道である「経由地」すべての自然環境の影響を受けやすい生物であることがわかっています。しかも、最近ではサシバの個体数の急速な減少が心配されていて、国境を超えた広範囲での保護・啓発活動が必要な生き物でもあります。

今年も崎原の子どもたちとサシバを大切に见守ることで、子どもたちが奄美大島には多様な生態系を持つ自然環境が残されていることに気づき→調べ→守るについて共に考えることができたらありがたいです。

参考文献:国際サシバサミット～2019市貝～パンフレットより

特認校生を募集しています!

崎原小中学校は奄美市の小規模校入学特別認可校の指定を受けています。

この制度は、豊富な自然環境に恵まれた小規模校の特性を生かし、心身の健康増進・体力つくりとともに、自然に触れあう中で学ぶ楽しさと、豊かな人間性を育めたいと希望する保護者や幼児・児童・生徒のみなさんに、一定の条件の下で、特別に入学(転学)を認める制度です。

栄光の軌跡 ～ 児童生徒の受賞の記録 ～

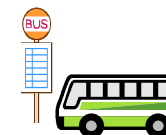
コロナ禍で、コンクールや作品展の中止や規模の縮小等もありましたが、実施された中で、崎原小中学校の児童生徒が応募した作品が数多く入賞しておりますので、御紹介いたします。

「住みよい環境を守る」作品展 標語の部 佳作 愛川 琥珀 (中2)

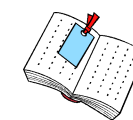
奄美市理科作品審査会 特選 辺木 美咲 (小4)
特選 里 俊煌 (中3)

大島地区小学校社会科作品コンクール 最優秀賞 保枝 志琉 (小5)
鹿児島県小学校社会科作品コンクール 佳作 保枝 志琉 (小5)

市読書感想文コンクール 特選 山下 葵結 (小2)
特選 保枝 志琉 (小5)
特選 畠 あい (小6)
特選 愛川 琥珀 (中2)



地区読書感想文コンクール 特選 保枝 志琉 (小5)
特選 畠 あい (小6)
特選 愛川 琥珀 (中2)



市児童生徒作文コンクール 特選 辺木 美咲 (小5)
特選 久保 花音 (小6)
特選 里 俊煌 (中3)

税に関する絵はがきコンクール 法人会女性部会会長賞 久保 花音 (小6)
法人会青年部会会長賞 里 達磨 (小6)
優秀賞 畠 あい (小6)
入賞 向井 心美 (小5)

南日本硬筆展 推薦 山下 葵結 (小2)
金賞 森田 光南 (小4) 金賞 竹下 芽依 (小4)
金賞 辺木 美咲 (小4) 金賞 向井 心美 (小5)
金賞 畠 あい (小6)

銀賞 安田 直矢 (小2) 銀賞 向井 瑠来 (小3)
銀賞 藤井 亜衣 (小5) 銀賞 永山 悠太郎 (小6)
銀賞 森田 亜門 (小6) 銀賞 久保 花音 (小6)
銀賞 仁野 珠奈 (中1) 銀賞 麻井 琴乃 (中2)
銀賞 辺木 颯太 (中3)



学校ブログ
【崎原日誌】の紹介

ほぼ毎日更新中。

崎原日誌



検索

「小・中の連携」に関する研究 外国語活動

今年度から始まっています「小・中の連携」に関する研究において、2回目の検証授業を行いました。今回は、小学校の外国語活動の授業に中学校英語科の教師が加わり、小中の教師二人がチームティーチングの形で授業を進め、外国語活動の授業の在り方を研究しました。研究の成果や課題を検証し、子どもたちの学力向上に向けて、「チーム崎原」として職員が一丸となって、組織的な研究を進めていきたいと思います。



12月の行事予定

- | | | |
|-------|-----|---|
| 12/1 | (火) | 人権週間～12日
スクールカウンセラー相談日
奄美群島日本復帰記念月間～25日 |
| 12/2 | (水) | 期末テスト(中学校) |
| 12/3 | (木) | 期末テスト(中学校) |
| 12/4 | (金) | 期末テスト(中学校) |
| 12/8 | (火) | 「人権の花」運動閉校式 |
| 12/10 | (木) | 血液教室(中学校) |
| 12/11 | (金) | 市中学校英語スピーチコンテスト
市中学校弁論大会 |
| 12/12 | (土) | 校内ロードレース大会
学校保健委員会・学級PTA |
| 12/13 | (日) | クリスマス杯バドミントン大会 |
| 12/14 | (月) | いきいき生活ウィーク～20日 |
| 12/15 | (火) | 音楽集会 |
| 12/16 | (水) | 学校評議員会 |
| 12/18 | (金) | 親子読書の日 |
| 12/20 | (日) | 家庭の日 市民総ぐるみ清掃活動 |
| 12/22 | (火) | 炭の取り出し(5・6校時) |
| 12/24 | (木) | 終業式 |